



認定こども園
五所川原こども園
TEL 0173
34-2654

聖句 求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。 マタイによる福音書7章7節
主題 みつける
月のねがい ・聖書のお話の中に、神さまの私たちへの愛やまもりを感じる
・興味をもったことからの探求を楽しみ、体験や知識を広げていく。また、絵本やうた、保育者や友だちの
からことばの世界を深めていく
・一人ひとりが安心して園生活を送れるよう、またともに暮らしやすい、環境づくりや、生活習慣の順序や
こつを体験しながら習得していく

今月の聖句の続きには、「門をたたきなさい。そうすれば開かれる。だれでも求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者は開かれる」とあります。イエスさまは、与えられることを信じて、大胆に祈り求めることが赦されていると語ります。あなたがたは悪い者でありながら自分の子供には良いものを与えることを知っている。ましてやあなたがたの天の父は、求める者に良いものをくださるに違いない、と言われます。しかし、私たちが求めるものと、神さまが与えてくださる良いものとは同じものなのでしょうか。

私たちは色々な願いをもちます。ただし、本当にその願いが良いことなのか、実は分からないのではないのでしょうか。祈りが、願いが聞かれない、そう思うなら、自分のことを振り返ってみてください。自分本位の求めになっていないか、自分勝手な願いになっていないか、と。神さまへの祈りは違うのです。神さまは私たちの祈りを聞き、御心を通して良いものをくださるのです。

求め続ける中で、私たちは神さまと対話することができます。始めは率直に願いを申し上げれば良いでしょう。しかし、その中で求めるものが本当に良いことなのか、神さまにお委ねすることが出来るようになります。「神さま、私は〇〇を願います。神さまが良いと思われるのであれば、御心でしたらお与えください」と。その時、私たちは願うものを求めているようでいて、すでに神さまの御心を求め始めているのではないのでしょうか。そして、そのことは神さまご自身を求めることにつながります。

そんな求めや願いに立つことが出来れば、必ず神さまは弱い私たちを力づけ、正しく与え、導いてくださるはずです。



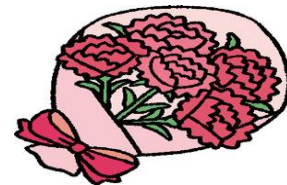
6日(金) 花の日・子どもの日礼拝
消防署訪問(ひまわり組)
12日(木) エルムの街交番訪問
(大きいひまわり組)
19日(木) 総合避難訓練
20日(金) お誕生会
26日(木) 交通安全教室
(交差点横断の仕方)
職員会議

<花の日・子どもの日礼拝の由来>

1856年にアメリカのレオナード牧師が、子ども達が信仰生活に入るために、また、その両親が子どもを神に捧げる日として6月第2日曜日に特別礼拝を持ったのが最初です。その後、1870年に、マサチューセッツ州ローエル市の牧師が「シャロンのバラの日」と名付けて、子ども達が花のようにすくすくと育つことを願って祝福し祈り、花を子ども達に手渡して礼拝を守ったことから、この日を「花の日・こどもの日」としてキリスト教の教会で守られて、次第に幼稚園・保育園・学校で守られるようになりました。

<ねらい>

- ・神さまや人々から愛されていることを知り感謝する。
- ・花の美しさに気づき、大切に扱う。
- ・花も人も神さまから与えられて成長していることに気づく。



※6日の朝、お庭に咲いているお花を少し持って来て下さるようお願い致します。
持ち寄ったお花を礼拝堂に飾り、感謝の礼拝を捧げます。



あみちゃん
きょうくん
そうやくん
ななせちゃん

○消防署・交番訪問

花の日・こどもの日の礼拝後、いつもお世話になっている五所川原消防署とエルムの街交番へ子ども達がお花をもって訪問し、感謝の気持ちを伝えます。
☆6日(金) ひまわり組が消防署内、レスキュー隊の訓練を見学してきます。
☆12日(木) 大きいひまわり組がエルムの街交番へお花をもって訪問します。



<子ども達の安全確保についての取り組み>

交通安全教室を5月は園庭で道路の正しい歩き方、6月は横断歩道の渡り方、信号の見方、交通安全について、エルムの街交番の警察官に来てもらい教えて頂きます。(お散歩コースは、毎月1回点検を行っています。)